福岡県労連
KEN ZENROREN ROREN

2023
4月号
No.196

発行所　福岡県労働組合総連合
〒812-0016　福岡市博多区博多駅南
1－9－8　ケイ・アイビル2F
☎092-433-1833 FAX092-433-1822
編集発行
福岡県労働組合総連合
福岡県労連　検索
〔定価〕
1部10円

3・19憲法を活かし いのちと暮らしを守る 福岡県総がかり行動

全ての市民の力で憲法が生きる 希望ある未来をつくろう！

3月19日に福岡県総がかり実行委員会主催で県内一斉スタンディング行動が行われました。この行動は、福岡県労連が1988年から毎年3月に行ってきた県民集会を発展させるかたちで、2015年に安倍政権のもとで強行採決された「安保法制」の廃止を求める運動の広がりの中で、市民団体と共同で結成された総がかり実行委員会が主催となって、毎年開催しています。

今年は昨年12月に国会での議論を経ずに閣議決定された「安保3文書」への緊急抗議行動として県内7か所で集会とアピール行動が行われました。

福建労200人参加でのスタンディング

閣議決定でなんでも決まる危険

福岡市では天神ツインビル前広場を会場に集会が開催され、600名が参加しました。集会では、自由法曹団福岡支部幹事長の井下顕弁護士が基調報告として「岸田政権は安保3文書閣議決定のように閣議決定しさえすれば何でもできるようにしようとしている。このままでは緊急事態条項も同じように議論を経ずに決定されてしまう危険がある。また、岸田政権が軍拡大増税を推し進めているが、5億円あれば医療費無償化や学費無償化が実現できる。軍事費を削って福祉と暮らしにお金をまわせと声を上げよう」と訴えました。

井下顕弁護士

続いて、辺野古アクション・福岡の井出一徳さん、市民連合ふくおか事務局長の片山純子さん、福岡大学名誉教授の星乃治彦さんらが軍拡を進め原発回帰政策をとる岸田政権への反対の訴えをスピーチし、最後に「県民総がかりの力で日本国憲法が生きる希望ある未来をつくっていこう」と福岡県総がかり行動アピールを採択しました。

軍拡で平和を守ることになるのか

集会のあとは、各団体16か所に分かれてのスタンディングアピールに取り組み、福岡県労連からは加盟組織から200名を超える組合員が参加しました。県労連の渡邉事務局次長は「ウクライナ侵攻から一年が経つが戦争は終わりをみせない。不安定な情勢に不安を抱えながら生活している人がたくさんいる。岸田政権は軍拡を進めているがこれは本当に平和を守ることにつながるのか。防衛費のために年間5兆円の増税をしようとしているが、このお金でもっとできることがあるのではないか。みんなで一緒に考えてほしい」と声をかけ、「人間らしい希望を持って働き、それに見合った賃金を得られる社会を実現しよう」と訴えました。

日曜日の大通りで多くの人が訴えに耳を傾け、参加者が配るティッシュを手に取っていきました。

各地で「戦争させない、9条こわすな」の声

大牟田ではゆめタウン大牟田前でスタンディングアピールが行われ60名が参加しました。久留米では西鉄久留米駅前でスタンディングが行われ、10団体41名が参加しました。直方では直方駅前の須崎町公園で集会が開催され100名が参加しました。北九州市では「川内原発の60年運転を許すな！さよなら原発！北九州集会」として同日に開催され、500名が参加しました。

そのほか京築・飯塚でも集会が行われました。

第94回福岡県中央統一メーデー
メーデーアピールコンテスト出演募集

第94回福岡県中央統一メーデー集会は、四半世紀に及ぶ日本の低賃金と急激な物価高騰の中で、まさに労働者の団結が問われる状況のもと、切実な要求を持ち合ってたたかいの輪を広げるメーデーとして開催されます。例年、メーデー集会のメインイベントといえば各団体が自分たちの要求をアピールするデコプラ展でした。今年はこのデコプラ展を発展させて、声をあげられずに困っている人や、声をあげることをためらいながらも頑張っている人たちに向けて、「一緒に声をあげよう」と伝え、つながるメーデーとすることを目的に「メーデーアピールコンテスト」を開催します。多数の個人・団体からの応募をお待ちしています。

内容	プラカード、メッセージボード、横断幕、仮装、パフォーマンスなどで要求を表現。
審査	インパクト、ユーモア性、アピール度、共感力、デザイン性など総合的に評価。
表彰	●団体部門…最優秀賞3万円（1本）、優秀賞2万円（1本）、特別賞1万円（2本） ●個人部門…最優秀賞1万円（1本）、優秀賞5千円（1本）、特別賞3千円（2本）
申込先	福岡県労連 TEL：092-433-1833　FAX：092-433-1822 MAIL：info@fuk-kenroren.jp

新コーナー「交流のひろば」スタート

今月号で印象に残った記事の感想、日常の出来事などお便りください。「交流のひろば」に掲載いたします。メールまたはFAXまたはQRコードよりお送りください。

■メール：watanabe@f-kenroren.jp
■FAX：092-433-1822

「原発ゼロ!! 3・11福岡集会」

原発のない社会をめざして

3月11日14時より警固公園で「原発ゼロ!! 3・11福岡集会」が開催されました。

警固公園には多くの単組・組合が集まり、原発反対と12年前の福島第一原発事故の惨禍が繰り返されないよう決意や思いを訴えました。また、福島第一原発事故が起きた14時46分には、集会参加者全員で黙とうを捧げました。

後半は、参加者による天神一周デモを行い、プラカードやのぼり、横断幕を持ち「原発はいらない!」「福島原発事故を忘れない!」「子どもを守ろう!」「電気は足りてる!」などのコールを唱えながらのデモ行進を行い、原発のない社会づくりを市民にアピールしました。

3・12いのちと暮らしを守る大牟田地域集会

大軍拡、大増税は絶対に許さない!

「3・12いのちと暮らしを守る大牟田地域集会」を大牟田文化会館大ホールで600人を超える人たちが参加して開催しました。

この集会は地区労連、大牟田市社会保障推進連絡会に参加する団体で実行委員会を結成して、岸田内閣が推し進める国民生活犠牲の大軍拡で戦争を推し進める危険な情勢をはね返すために開催しました。

集会では弁護士法人しらぬひや大牟田民商やクリーニング同業組合、医療労働者や医療法人、新日本婦人の会、年金者組合など8団体からそれぞれの分野での状況と闘いが報告されました。

「国民生活犠牲に断固反対し、大軍拡、大増税は絶対に許さない!来月の統一地方選挙で地方から政治を変えよう!」などの集会アピールを採択し、「団結頑張ろう!」で閉めました。(建交労は13名の参加)。

ニチアス包囲行動

不誠実な対応に怒りの声

福岡県建設労働組合　手島 和敏

3月16日と20日の2日間にわたって、建設アスベスト訴訟の判決で加害責任が認定された、建材メーカーニチアス株式会社九州支社(福岡市)と同社の北九州営業所にて、「真摯な謝罪と補償基金への参加」を求める宣伝行動をおこない、原告・弁護団・支援組合など、2日間で延べ308人が参加しました。

福岡市での行動では、近くの赤坂交差点を中心に宣伝行動を行い、近隣の企業・住宅を対象にポスティング行動をおこないました。並行して、原告・弁護団は九州支店を訪れ、ニチアス九州支店の責任者との懇談を求めましたが応じなかったため、玄関に備え付けのインターフォン越しに要請をおこないました。原告団・弁護士はインターフォンで原告全員や弁護士が代わる代わる被害を訴え、かさねて面談を求めましたが、ニチアス側は最後まで担当者が現れることなく、不誠実にもインターフォン越しでの対応を貫きました。

20日の宣伝の最後には、ニチアス九州支店入口にて参加者全員でシュプレヒコールをおこないました。

門前払いの対応に終始するニチアスの姿勢に対して、参加者は「アスベストで仲間の命を奪っておいて謝罪もしない。要請に対して出てきて応対もしない」と、強い憤りを感じていました。被害の原因を作った建材企業の謝罪と賠償を勝ち取り、完全解決を実現するまで、引き続きご支援ご協力をお願いします。

加盟組合活動紹介

全印総連福岡地連宣伝行動 地域に労働組合の存在をアピール

全印総連福岡地連
書記長　伊藤 友晴

全印総連福岡地連は3月24日、福岡市南区のDNP前で宣伝行動を行いました。福岡地連から3名の役員に加え、福岡県労連、福岡地区労連も参加し、マイク宣伝とティッシュ配りを実施しました。

福岡地連の野中委員長は昼時の休憩時間に社屋を出入りする社員さんたちに向けてハンドマイクで「労働組合に入って働き続けられる職場をつくろう」と呼びかけ、大日本印刷久喜工場では非正規労働者が組合を組織して、非正規の定期昇給など様々な労働条件を向上してきたことを紹介して、組合への加入を呼びかけました。

参加の各団体はのぼりを掲げて、通りを歩くの社員さんに全印総連を紹介するチラシを折り込んだティッシュを配布。DNPとその周辺に労働組合の存在をアピールしました。

全印総連福岡地連は定期的に宣伝行動を行い地域に働く仲間の輪をひろげる取り組みを続けていきます。

編集後記

突然ですが、「ChatGPT」というものをご存じでしょうか？ChatGPTとは、PCに質問を入力すると、質問の意味を正しく汲み取り、より自然な形で回答を出してくれるWEBサイトです。昨年11月のサービス開始以降、わずか3か月で全世界ユーザー数が1億人を突破した、注目のサービスとなっています。そこで、「ChatGPT」に、「労働組合がもっと強くなるには？」と入力して、返ってきた答えをまとめると次の通りとなりました。①組合員を増やして強い立場に立つ　②他の組織からの支援の結集　③労働者の意識啓発　④公正かつ透明性のある情報発信。当たり前のようでいて、結構難しい課題ですが、「強い労働組合」を作るためにも逃げずに取り組み続けたいものです。(て)